

## 仙台市いじめ実態把握調査等について

### 1 仙台市いじめ実態把握調査について

- (1) 実施目的：児童生徒が保護者と話し合いながら回答する調査票を基に、各学校がいじめの現状や児童生徒の状況を的確に把握し、いじめの予防及び早期発見、早期対応を図る。このため、市教委で様式や実施時期（毎年 11 月）、回答方法を指定し、全校一斉に実施している。

⇒ 学校が保護者と連携の下、いじめ対応を行うことが目的

#### (2) 調査方法とその活用

- ① 調査用紙 1：いじめの有無や事案の内容等について記載するもの
  - ・記名式で回答用の封筒にのり付けして提出
  - ・児童生徒の聴き取りに活用
- ② 調査用紙 2：いじめに係る学校体制や教職員の取組姿勢等について意見を記載するもの
  - ・無記名式でそのまま回収
  - ・各校の体制の見直しや未然防止の取組等に活用

### 2 いじめ事案集計表の提出について

- (1) 実施目的：学校が認知したすべてのいじめ事案について組織で対応するとともに、教育委員会と情報を共有し、必要な連携を図り、いじめ問題の未然防止や早期発見、早期対応につなげる。

⇒ 学校が市教委と連携の下、組織でいじめ対応を行うことが目的

#### (2) 調査方法と提出について

- ① 定期的なアンケート調査や保護者からの連絡等で把握したもの、日常の学校生活の中で認知した全てのいじめ事案について報告を求めているもの。  
※ 報告のために毎回アンケートの実施を求めているものではない。
- ② 1 件 1 件について、いじめの態様、事案発生日、いじめ防止等対策委員会での検討日、保護者連絡の状況、事案後の登校状況などを記載する。
- ③ 年間 4 回（7 月、10 月、1 月、3 月）の報告を求めており、学校は前回報告したものに追記することになっている。
- ④ 3 月末に文部科学省の「児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導の諸課題に関する調査」の基礎データになっている。

### 3 学校の独自アンケートとの関わり等について

- ・学校の独自アンケートは、2 のいじめ事案集計表の提出の時期に合わせ、多くの学校が行っているものであり、いじめ実態把握調査の結果は、1 月の報告に反映している。
- ・学校の独自アンケートは、設問も様々で、基本的に児童生徒が学校で記載する場合が多いと把握している。年 1 回は、明確に「いじめ」について親子が一緒に考え、振り返ることのできる場も必要と考えている。
- ・いじめ実態把握調査や学校の独自アンケートは、結果的に 2 のいじめ事案集計表にまとめられるものであるが、主たる目的は集計ではなく、児童生徒の健全な成長のために、学校が保護者や教育委員会と適切に連携しながらいじめを早期に発見し、早期解決に結び付けていくための取組である。